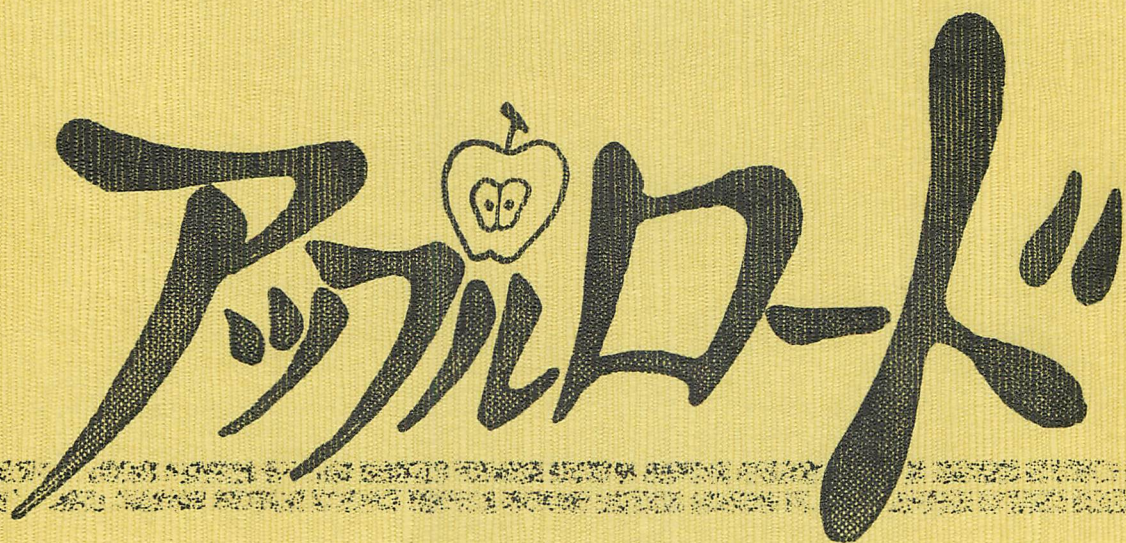


弘前大学医療技術短期大学部理学療法学科

同窓会創立10周年記念誌

研心

The title '研心' is written in a large, bold, black calligraphic font. The character '研' (ken) is stylized with a small apple icon integrated into its upper right portion. The character '心' (shin) is also stylized with a small flame-like shape above it. The entire title is set against a light green background with a subtle horizontal line.

弘前大学医療技術短期大学部

理学療法学科同窓会

1992.11.22

【 目 次 】

1. 同窓会会長挨拶	1
2. メッセージ ～10周年を祝って～	
恩師からのメッセージ	3
教官からのメッセージ	9
同窓生からのメッセージ	15
3. 同窓生の都道府県別就職状況	27
4. 会員・教官名簿一覧	29
5. 編集後記	50



新しい時代に向かって

弘前大学医療技術短期大学部

理学療法学科同窓会会長 石川 玲

弘前大学医療技術短期大学部理学療法学科同窓会の歴史は、第1期生の卒業式が厳かに挙行された昭和58年3月23日、当時弘南電鉄弘高下駅の筋向かいにあった「まんぶく村」という居酒屋から始まりました。国家試験の結果はわからないけれどもとにかく卒業できたという喜びの美酒に皆が浸り、かなり酩酊状態になりながらも、梅割焼酎を手放さず、塩辛い鰻の骨のせんべいに舌鼓を打っていた時に、誰からともなく同窓会創設の声があがりました。そして会長を誰にするかという段になって、對馬 均先生の「お前が会長をやったらどうか」という一言がきっかけで、初代会長を引き受けることになりました。その後、会長交代劇のないままに10年目が過ぎようとしています。

たった10年の歴史ではありますが、これまでの同窓会の主な活動を振り返ってみると、ニュース“Apple Road”の発行、会員名簿の発行の他、研修会も開催されました。

第1回研修会テーマ：“mobilization technique” 講師：對馬 均先生
昭和59年3月19日、於：弘前大学医療技術短期大学部

第2回研修会テーマ：“歩行と下肢装具” 講師：香川幸次郎先生
昭和60年9月22日、於：青森市浅虫「雪花荘」

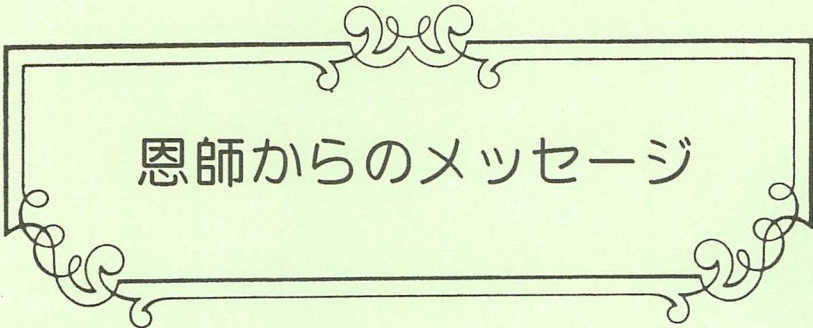
第3回研修会テーマ：“呼吸器の理学療法” 講師：山下弘二先生
昭和61年11月2日、於：青森県大鰐町「大鰐山荘」

第4回研修会テーマ：“地域リハビリテーション” 講師：伊藤日出男先生
平成元年2月11日、於：青森市浅虫「柳乃湯旅館」

また、同窓会創設以来、最も思い出深い行事は、昭和63年2月に開催された菅原正信教授の退官記念講演と”菅原正信教授を囲む会”でした。母校理学療法学科開設当初から8年間にわたって我々の教育にご尽力された菅原教授の定年ご退官を惜しんで、当時95名だった会員の約7割が会場に集い、菅原教授と夜遅くまで思い出話に花を咲かせていました。その後、菅原教授はニュース“Apple Road No.20”を通じて、我々に次のメッセージを寄せてくださいました。「同窓の先輩と後輩が手を取りあい、互いに励まし合い、研鑽を続けることこそ、笑いを失いあるいは失いかけている人々に笑いを取り戻させることになると思うのです。時代の変遷はあらゆる分野に改革をもたらし、変貌を余儀なくさせることと思います。医療におけるPTの指導者として後輩を育て、あらゆる疾患に対する療法の確立をしてゆく務めを背負わされるのが、あなたたちなのです。時代の変貌をよく見極め、創意工夫を重ね、対応できる力を持たねばなりません。そして時代を生き続け悩み苦しむ人々のため、役立つことに生きがいを感じ努力し続けることをお互いに誓い合いたいと思います。」

ここ数年、同窓会が一頃の勢いを失いかけていることを感じている会員は少ないと思います。それは会員数が186名（平成4年現在）に増加し会の運営が次第に難しくなってきたためと、何よりも我々同窓生一人一人が互いに励まし合い手を取り合うことを忘れかけているためではないでしょうか。また、後輩を育てることを忘れ、最近入会した会員にとって同窓会は何のメリットもない存在になってはいないでしょうか。たった10年の歴史ですが、同窓会の変貌しなければならぬ時期に差しかかっています。ここ数年、役員会ではこれまでの目先のことにとらわれた運営方法を見直し、将来に向けての新たな運営方法について検討を重ねてきました。同窓会が変貌を遂げるためには、会員の方々のなお一層の協力なしにはできません。今こそ、会員一人一人が、菅原教授が示してくださった同窓会の理念を肝に命じ、一丸となって新たな時代に向かって邁進しようではありませんか。

終わりに、これまでに励ましやご指導を戴いた皆様に感謝申し上げますとともに、今後ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



恩師からのメッセージ

十周年を迎えた同窓会に贈る言葉

外旭川病院院長 菅原 正信

時の流れの早さを最近強く感じております。年の所為だと思っておりますが、何かしらの仕事をしていることも理由の一つのように感じています。弘大医短理学療法学科が新設されて十二年を経て、第十期生が卒業、理学療法士として既に医療機関で活躍をなさっている状態となりました。卒業した人々の連絡提携と、技術の研鑽を目的に創生された同窓会も着々と成果を挙げ、節目の十周年を迎えたこと、心よりお祝い申し上げます。学科開設当時は、教官も充足されず、教室や設備も不備な状態でしたが、それにも拘らず初期に入学された人達は、一生懸命に努力されたことが強く私の印象に残っております。完成年次には素晴らしい仕事をされている教官を迎えることができ、教育指導の充実、多くの業績発表により弘大医短理学療法学科の存在を世に示して頂いたことは、同窓会員の誇り得ることでありました。教官に負けじと四年生大学卒業資格を獲得する努力や、大学院での研鑽、学位の取得、海外留学、学会での研究発表など同窓生の活躍は目ざましく、至らない私に常に勇気づけて頂いている状態です。地域リハ実習、夏のキャンプなどでみんなと話し合い心の触れ合いを持たれたことも、色々知ることができ、良き糧として心に残っています。

今私は特例老人病院に勤務していますが、病む老人の立場を思うとき、世情の変わり方に驚きを感じると共に、何か役立つ手助けをと、消えかかる灯をかき立てながら努力を誓っております。この度の同窓会では成長されたみんなとお会いでき、みんなのお話を聞かせてもらうことを楽しみにしています。おそらくまた多くのことを私は教わることであろうと期待で一杯です。それについても健康が一番大切ですので常に自分の体調には充分と気を配り、毎日が楽しく仕事ができるようにと心より祈っております。そして同窓会をさらに大きく育てて下さることも。

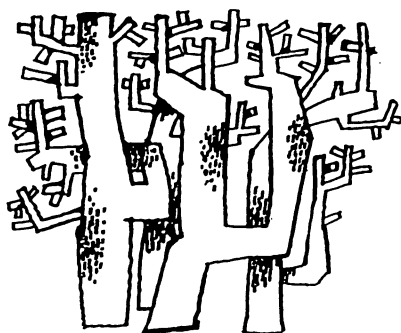
教訓「日にち薬」

青森県立中央病院 齊藤 康弘

海外、全国各地または他分野で活躍している同窓生の皆さん、理学療法学科同窓会10周年おめでとうございます。会員数も、もうすぐ200名を越えようとしており、会の力も一段と大きく発展し、学科のバックボーンとして頼りになる存在であると思います。

光陰矢の如し、時は金なり等、時間に対する格言、教訓はたくさんありますが、敬老の日のテレビ番組で100歳を迎えたきんさん、ぎんさんの話の中で「日にちグスリ」という言葉が出てきた当初、意識していなかったが何故か脳裏から離れず残っていた。時間そのものが薬という発想もユニークであるが、良く考えてみるともっと別な方面にも共通して使える含蓄のある言葉であると思った。治療に長期間かかるリハビリにおいて「日にちグスリ」の効用は大きいものと思います。早期治療、早期離床の理念は理念として大事だが、患者それぞれにおいて心理的、肉体的に治療にマッチした時期がありそのための準備期間が必要である。病状の重軽度にかかわらず、早期に治療を始めても治療に乗らない患者を再々経験するが、それは「日にちグスリ」が足りないためではないかと思います。リハを行う上で「日にちグスリ」は、障害受容やレディネス（準備性）等と同様に、もう一つの大事な要素であると思います。

一日一日、患者誰一人無駄に過ごしている者はいないし、眠っていても動かなくても意欲がなさそうでもそれは明日、将来に向けて必要な準備期間なのではないか、スタートは遅くても結果的にはゴール到達期間は同じであり、特にリハ患者、家族にとってなくてはならない薬それは「日にちグスリ」だと思いました。



弘前大学医療技術短期大学部理学療法学科
同窓会10周年にあたって

神奈川県衛生部健康普及課 香川 幸次郎

昭和45年3月、清瀬リハビリテーション学院を卒業し、リハビリテーションの分野に入って早20年余が過ぎました。

弘前大学での7年間を一言でいいますと、猪突猛進の日々でした。新しい学科を創設するという願ってもない課題に取り組むとともに、30歳代という若さが7年間を一瞬のものとさせ、私の人生にとってかけがえのない貴重な体験と思い出となっています。

大学在任中に、1期生から5期生までを送り出し、5期生とともに卒業し、行政という新しい分野に一人で飛び込んで5年を迎えました。幸いにも、私のテーマであります高齢者の保健・福祉に関する分野での仕事に従事でき、行政を通じて老人問題に日々取り組んでいます。これまで考えが及ばなかった奥のことを知るとともに、その課題の大きさに時として自分を見失うこともあります。

さて、わが国の急速な高齢化はリハビリテーションや理学療法を質量ともに今後益々必要としてきております。患者さんや障害者の方々から学び、その立場に立ってとの理学療法学科の理念をもとに、これからも仕事に励んでいきたいと考えています。

弘前大学を卒業した多くの方々が、全国で活躍し始め、学会等でその名前を知る時、自分のことのように嬉しく思えるのも、弘前時代があったからだと感じています。

10年という時間は過ぎ去ってしまうと短いようですが、その一步一步が皆さんの宝物であり、学科の礎となっています。21世紀に向かって、新しい歴史を共に作って行きたいものと思っています。

理学療法学科同窓会が今後とも益々発展されることを願っています。

わが家のコンパ

秋大医療短大理学療法学科助教授 進藤 伸一

弘前時代のアルバムを見ると、学生と一緒に酒を飲んでいる写真が一番多い。しかも、コンパ会場がわが家の写真が一番多い。

これには理由がある。正規のカリキュラム以外に、もっと自由に学生と勉強したり、交流を持ちたくて始めた自主ゼミ（運動療法学研究会）のコンパ会場が、わが家だったのだ。始めた当初は5～6人だったメンバーが、年を追うごとに増え続け、終わりの頃にはほぼクラス全員が、わが家にやっていたのではないだろうか。

コンパの時に、わが家から出される一品はスペアリブ。あとは学生が材料を持ち込んで料理してくれる。それを私も家族もいただく。パートナーは夕食の準備をしなくていいし、子供は喜ぶので、この日は私の家族サービスの日になる。しかも、意識不明になるまで飲んでも、何の心配もいらない。二階に上がってボタン・キューである。学生はたまに朝方までやっていたみたいだが、いつでもパーフェクトに、いや、かえってきれいに片づけてくれていた。こうして私や家族は、たくさんの楽しい思い出を創ってもらった。

弘前時代は、私自身も正規の学生証を持つ大学生であった。通信教育課程に席をおいていたのだ。学生から見れば私は「教師」かもしれないが、コンパの席では、自分としては「学生」気分そのものだった。大事なことは、「教師」とか「学生」とかの身分以前の「人間」のレベルで、それぞれが補い合い、扶け合って生きていくことではないのか。そうした思いがあったから、私は学生と対等につき合いたかったのだ。

秋田大学医療短大に移ったから一層感ずるのかもしれないが、私の教師としての原点の一つは、弘前のわが家での楽しかった学生との語らいなのだ、とつくづく思う。

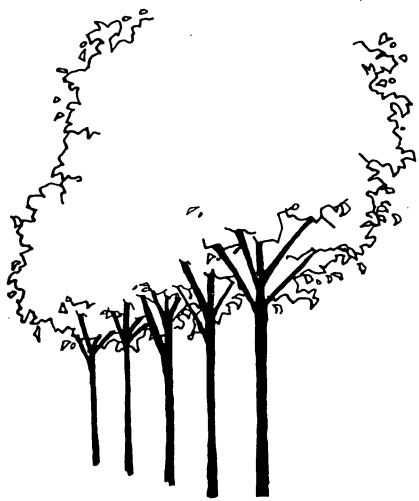
同窓会10周年記念 特別号寄稿

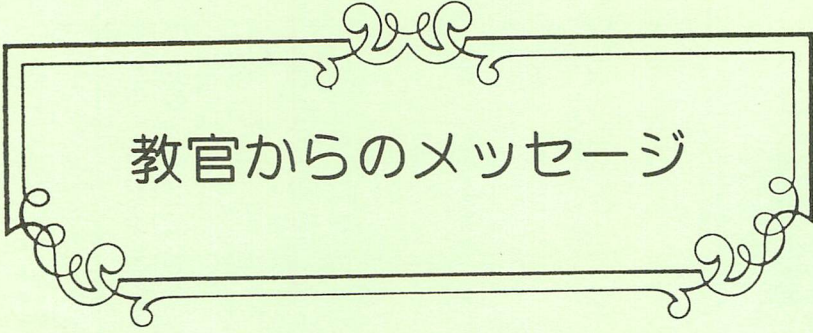
青森保健生協中部病院 伊藤 和夫

同窓会10周年おめでとうございます。早いもので10年、一昔といわれますが、私なりに振り返ってみても、様々な思い出が浮かんできます。昔のことをとやかく述べてもきりがありませんので、現況を報告し、お祝いの言葉にかえさせていただきます。

- ①医短入職時に生まれた長男は、現在11才になりました。娘は8才です。
- ②弘前まで、通算して10年間通勤しました。弘前生活はのべ14年間！
- ③まもなく40才に届く今も、いまだに禁酒禁煙を実現には至っておりません。
- ④卒業生の結婚式には、参加することに意義ありとばかり、過去14回出席しました。
- ⑤虚礼廃止とは名ばかり、最近筆無精の余り、年賀状を出し忘れております。
- ⑥コードレス電話は購入しましたが、留守番電話はありません。
- ⑦今年はずでに4回も上京しました。
- ⑧卒業して11年ぶりに、母校の清瀬を訪れました。恩師の供養を一人で・・・
- ⑨ここ1年余りは事務職と兼務の日々が続きました。医療経営の難しさを体験、痛感！
- ⑩現在、かろうじてまだPTを続けております。技術もなくただ会話療法が中心です。

医短を離れて5年目になります。やっと、現場の実態と同時に、医療技術者の教育の重要性が見えてきたようです。学生時代に受ける教育のみならず、やはり生涯教育も必要でしょう。さらに、最近、若者の組織社会への不適應性が指摘されるのは医療関係でも同様です。その背景にはいろいろな要因がありましょう。皆さんが受けられた教育は？また、日々、切磋琢磨、研鑽に励んでおられますか？たった一度の人生、目的意識的に生きられれば幸い？めまぐるしい現代情勢の社会の中でいつまでも人間性を失うことなく、医療人としての責務を追求していきたいものです。ともあれ我が卒業生に幸あれ、では乾杯！





教官からのメッセージ

同窓会10周年と私の10周年

教授 三浦 孝雄

P T同窓会10周年おめでとうございます。同窓会は1983年3月発足ということですが、この一か月後の4月に短大の教官として赴任した私にとっても10周年ということになります。

この one decade の私自身を振り返ってみると、allied health profession について認識がまったこと、そして第一線から離れて教育の場で、ものを考えるゆとりができて、こだわりがなくなったことが大きなプラスでした。映画“フック”で、日本の商社マン顔負けの仕事だけしか頭になく、腹ボテのおじさんと子供達に馬鹿にされていた元ピーターパンが、幸せ、喜びを素直に感じる事ができて空を飛ぶ力を取り戻し、ラストで、アルツハイマー的にまわりからもうろくしていると見られていた老人が、ビー玉を手にして、ネバーランドへ向かって空を飛び立つシーンにたくされた、スピルバーグ（何故かこの人はE Tはじめ素晴らしい映画が正当に評価されていない人です）のメッセージに共感できたのも短大にこなければありえなかったと思っています。

しかし、現実には、第1線の外科系医師に要求される24時間勤務をできる体力気力がなくなっているのを悟るのは淋しく、教育は絶望か希望か、行きつ戻りつしているうちに、振り子は前者へ傾きかけていることは、教官としての適性能力がないことを示唆しており、勉強するほどに学生諸君からは遊離していくのも悩みの種です。自分のことはさておいて、G.R.Johnson は、患者さんに対して、head を使い、hand で、heart をもって、health を与え、hope をもたせるのがP Tの仕事であるといっています。これは私達自身が備えていなければできないことです。5つのHを get し、give するよう、今後の同窓会の皆さんの御活躍、御発展をお祈り申し上げます。

“弘大マインド”

教授 伊藤 日出男

短大勤務も長くなると、全国的な学会や研修会に出席する折りに、各地で活躍する卒業生が話題にのぼることが多くなる。「あの人は頑張りやですね」とか、「アイツはどうもね」とか、卒業生の彼／彼女の話題を通して相手と親しくなることができるので、ありがたいと思っている。何も知らない卒業生には甚だ迷惑だとは思いますが、多くはこちらが力づけられることの方が多い。

今年（1992年）の夏、東京で行われた神経発達学的治療法の講習会に参加したときに、近隣の卒業生数人が集まって私の8週間の滞在を激励してくれた。大都会の病院で勤務しながら夜間大学や大学院に進学している人や、卒業4年目で実習指導を担当している人達の話などは、本当に良くやっていると感心させられた。

たまたまこの講習会に参加した受講生の中に、ウチの卒業生と同じ勤務先の人が数人あり、「あの人は頑張りやですね」といわれ、大いに気をよくしたものである。

このように直接、間接的に卒業生諸君にこちらがお世話になることが多くなり、これこそ教師冥利につきると私は思っている。

卒業生の皆さんは、PTとしての経験を重ねるにつれて、好むと好まざるとに関わらず後輩の指導や、関連職種の講義を担当する機会が増えてくる。なるべくこの種の仕事は引き受けるようにしてほしい。

特に後輩の臨床指導に携わる場合には、学校で習っていない知識や技術の応用を指導することも大切だが、それよりも基礎的なことをきちんと指導して欲しい。それには自分自身が初心に帰って学校時代のノートや教科書を読み返すことをお勧めしたい。

いつまでも教師臭いことばかり述べて恐縮だが、要するに私が言いたいことは、たまには皆さんが心に抱いている 弘大マインド を思い出して欲しいということである。

10周年に寄せて

助教授 対馬 均

同窓会の10周年おめでとうございます。

これまで卒業した各期のクラスのことを思い出してみると、それぞれ10期十色のような気がします。それは、時代の反映や年齢構成の違い、クラス担任の方針の違いなどもあるのですが、毎年違うカラーが出ることは面白いと思っています。さて、私からみた各期の印象を、思い出も交えながらまとめてみたいと思います。

- 1期：長男長女としての自覚と責任，プライドのようなものが自然に備わっていったようです。よく言えばドッシリ構えている，悪く言えば鈍感？といったところでしょうか。卒業式の日，皆別れるのが心残りで，最後は西弘まで行ったことを覚えています。
- 2期：“監督”を中心にまとまりがあったようです。1期生に対するライバル意識もずいぶん感じられました。いつもどことなく悲壯感を漂わせていたのは，おそらく教官からのプレッシャーの影響だったのでしょうか。
- 3期：肝ったま姉ちゃんの揃い踏みにもめげず，男性群はひょうひょうとして我が道をゆくといったところが感じられました。なかなか味のあるクラスでした。
- 4期：まとまりがありそでなさそで……担任としては心配でしたが，知らぬは担任ばかり，案ずるよりなんとやらで，がちりスクラムを組んでいました。平滝沼でのキャンプも懐かしい思い出です。国家試験全員合格。やっぱりうれしかった。
- 5期：知的なムードが漂っていたクラスだったような気がします。もちろんそれを感じさせない人もいましたが……。過密なカリキュラムをものともせず，いろいろなことに挑戦し，多くのことを学んだのではないのでしょうか。
- 6期：はりきりboys&girls!! 何をやるにも一所懸命でした。それだけに挫折

感や悩みも尽きなかったのかも知れません。皆ずいぶん大人になっていたような気がします。「原宿」で朝まで歌ったっけ。

7期：入試の時の人数が一番多かったクラスでした。なんでもそこそこに卒なくこなすのですが、起用貧乏というかパツと燃えることが少なかったようでした。いつまでもくすぶってないでパァーッと燃えてみろ！パァーッと。

8期：まめによく動く世話人を中心に、勉強に遊びによく仲間で行動していたみたいでした。国家試験グループの団結はすごかったのでは？行合崎のムシには後遺症も含めて大変な目に遭いましたね。

9期：マジと冗談のはざままで揺れ動く時代を象徴しているようなクラスでした。でも3年後期にみせた団結力は秘められたパワーのものすごさを物語っていると思います。ずいぶんと小言を言ったような気がしますが、スルメのように後でジワッと味が出てくることでしょう。

10期：粒は揃っているがカラフルなドングリくんといったところか。強烈な個性の持ち主が多すぎて、皆が本気で腹を割って話し合える雰囲気は少なかったような気がします。その個性が良い方向で育つよう見守りたいと思います。

卒業生は私の誇りです。21世紀は君たちの時代です。



「たかがPT，されどPT」

助教授 青木 主税

同窓会10周年に何かを書くように依頼されて困りました。小生，同窓会という類の会には一度も出席したことが無いのです。わが母校（清瀬リハビリテーション学院）の4期生の同窓会監事でもあったかな？もしや除名されているかも？・・・よって何を書いてよいやら，締切はとうに過ぎているし，書いたところで没になるのでは？

全国学会の会場で「何処そこの学院同窓生，学会終了後〇〇に集合」のスポットが流されます。これって，私は何故か好きになれません。理屈をつければ色々あるのですが，学会会場でこのスポットは見たくないのです。

弘大の同窓会の皆さん，セクト主義にならず，全国各地で活躍して下さい。また，他の関連学会で研究発表をし，他流試合をして下さい。他の領域の研究者と大いに交流して下さい。研究にヒントになることが多々あると思います。

理学療法士になったから生涯（定年になるまで）PTを・・・などと考えないでください。PTから小説家になるのもよし，病院の経営者になるのもよし，アスレチッククラブのインストラクターもよし，政治家，役人になるのもいいのでは。好きなことをして羽ばたいて下さい。

医療という割り切れない世界を生きていく方法は，それが割り切れない世界だと認識して，それを楽しむことです。

「たかがPT，されどPT」

江崎玲於奈氏のことば（92.5.19 AERAより）

1. 今までのいきがかりに捕られるな
2. 人の影響を受けすぎてはいけない
3. 記憶力には限界があるので無用なものは捨てよ
4. 闘うことをさけてはいけない
5. 安定した満足感を持つてはいけない

「時には、シリアスに」

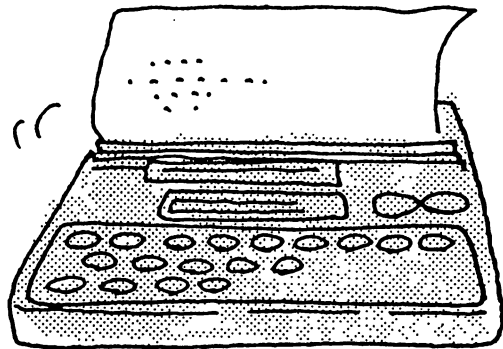
講師 近藤 和泉

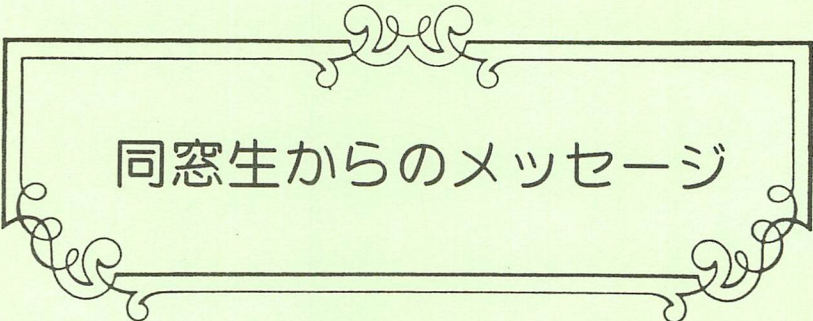
坂を登りはじめてしばらくたつと、息が切れてきた。さっきまであれほど軽かったペダルが、鉛のように重い。雨の勢いもまして、着ている雨具を通して、水気が忍び込んでくる。いやそれより体の隅々からにじみでてくる汗が、外気の冷たさで冷えはじめ、しびれるように寒い。自転車につけた懐中電灯も心なしか、暗くなってきて、道路の周りの立木の間の闇が濃さを増してきた。雨音に混じって、時々びしっと木がはねる音がある。はく息が白い、燃えるように熱い息が、あつという間に、ほの白いかすみに変わっていく。ペダルを踏み続けなければ、後ろからついてくる真っ黒な闇に飲み込まれてしまいそうだ。苦しい、一息毎に肺が燃える、一踏み毎に大腿が燃える。それなのに一向に坂は終わらない。何故ここにいるのか、何故一人ここにいるのか……。

もうすぐ35歳になりますが、あの時の暗闇の恐さは心から離れません。19歳、十和田の外輪山でのことでした。

短大にきて一年半、その前、大学病院のリハビリテーション部で結構長い間、仕事をしてきましたので、私を知っている方も多いかもかもしれませんが、私の方は良く知っている卒業生の数も少ないので、こんなことを書いてしまいました。

短大の501号室で、あるいは、脳研の研究室で夜遅くまで一人で仕事をしていると、時々あの時の暗闇がよみがえってくることがあります。仕事に追い立てられて、ろくろく眠る間もないくらいの毎日ですが、皆さんも頑張ってください。ではまた。





同窓生からのメッセージ

1 期 生



石井照子

アツという間に10年が経過し、同窓会員が増え、皆様、御活躍のことと思います。これからも弘大医短のPT的なものを受けつつ、かつバラエティに富んだ同窓会員であればいいなあ～。

和泉浩史

一期生として卒業し、はや10年が過ぎました。現在は第2の職場で子供達と共に頑張っております。ここは母子の通園施設ですが、PTの枠にとらわれず、幅広く学ぶことの重要性に気付かされました。PTとして何年たっても学ぶことは増えていきます。今回は残念ながら出席できませんが、機会があれば、ぜひ短大に寄らせて頂きたいと思っております。

岩井章洋

仕事について10年になりますが、何とか無事に行っています。これからもそれなりの仕事を行っていきます！

大山由紀

桜あふれる町、そびえる岩木山、りんごの花の香り・・・弘前を卒業して10年が経ったのですね。『アップルロード』では同窓生の活躍楽しみにみえています。私も一児の親になり日々貴重な体験をしています。10年前のあの時の気持ちを忘れずにマイペースで前進していきたいです。

川口 徹

毎日恙なく暮らしております。色々やりたいことが沢山ありますが、今やらなければならない課題が一つあり、それをかたづけたいと思っています。

栗林輝生

人間として、同窓会員として、十年は長いけど、一生は短いような気がする。三十一年経ってそう思う。運営に当たった諸君に感謝申し上げます。これからも明るく楽しい有意義な組織として存続する事を望みます。十年経ってそう思う。

後藤明教

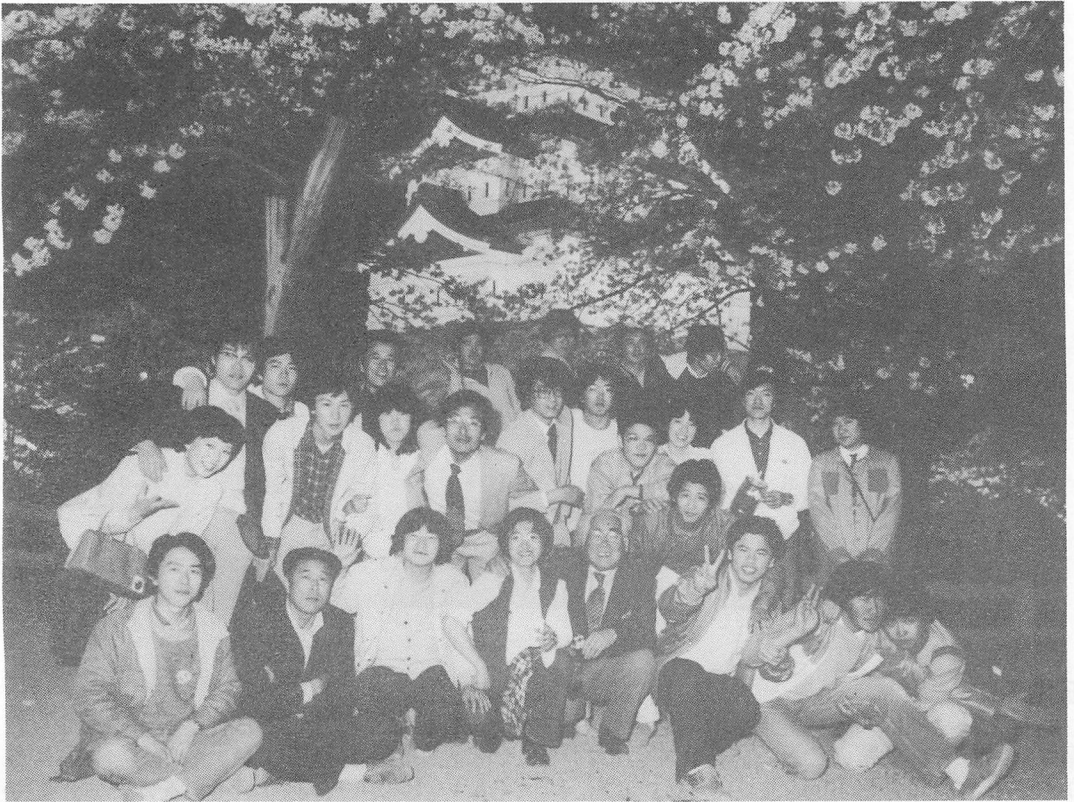
同窓会創立十周年おめでとうございます。

今 一成

弘前大学医療技術短期大学部理学療法学科同窓会創立10周年おめでとうございます。同窓会入会当時、21歳の青年は30歳の“オッサン”になってしまいました。創立20周年には40歳の私。教官の方々は・・・。

櫻庭 満

この10月から五所川原市の西北中央病院に勤務しています。医療短大在職中は皆さんにお世話になりました。今後も宜しくお願いします。-この場を借りて挨拶まで-



佐藤峰善

創立10周年誠におめでとうございます。自分としては、10年間で振り返ってみれば、7年間は弘前での生活だったので、その経験は大きな比重を占めているのですが、歳月とは関係なしに、秋田での経験も大きな比重を占めているようです。“10年間はあつという間”が実感です。最近、土、日にデータ（歩行動作分析）をとることが多く、当日の参加は厳しいと予想されますので、「（仮称）20周年記念の集い」に必ずや参加せんことを御約束して、欠席をお許し頂きたいと思います。皆様のより一層の御活躍をお祈りします。

柴田孝之

残念だけど都合で出席できません。地元青森に帰ってきて、顔見せのチャンスだったんだけど・・・。次の機会には必ず出席させていただきます。卒業して10年も経ったというのに、土会が変わって何か新卒者の気分です。でもさすが10年も働いてくると職業人としての凶太さはしっかり身につけてしまったようです。

鈴木 誠

同窓会も発足し、早10年、私も就職して、10周年です。10年ひとむかしとよく言いますが、今、肌で実感しています。世間は変化しましたが、変わらないのは自分だけのよう気がします。しばらくぶりでみんなの顔が見れると思うと楽しみです。二日酔いしないように飲みましょう。

多田利信

後輩諸君、自分が知らないことは何か知りなさい。

玉田富士子

同窓会も大きくなるにつれ、管理・運営がかなり大変ですね。皆様、本当にありがとうございます。私個人としては、アップロードをととても楽しみにしています。またこんな同窓会を誇りに思っています。なかなか参加できない私ですが、どうかこれからも宜しくお願いします。10周年という自分も卒業して10年、それだけのものが身についたのかと思いやる日々です。15年、20年の記念には、（あることを信じて）ぜひ参加したいと思っています。

2 期 生



岩淵達也

同窓会の役員の方々、いつも御苦労様です。私は元気でやっていましたが、もうすぐ30です。

内田雅之

いつの間にか卒業9年もたってしまい、経験ばかりが増え何もできていない自分に毎日イライラしています。それでもやる気だけはどうかあり、毎日色々考えさせられています。最近では、肢体不自由児施設といえども対象疾患が増えてしまい、自閉症児、多動児などが走り回ったり、地域で行われる巡回相談時などに、この子達が現れ、非常に頭を痛めている毎日です。今後も、細く長くをモットーに頑張りたいと思います。

金沢善智

私は今、今年度で「学生生活」にピリオドをうつべく、修論作成の最中です。そのため、申し訳ありませんが、「十周年記念の集い」に参加できません。本当に皆さんにとっても会いたかったです。

金 日根

近い将来、非常勤で社会復帰(?)の予定です。

金野 税

ヒソカに、子供が生まれて、結婚しました。現在、公私共に忙しい日々ですが、自分なりに頑張っています。

田中幸生

創立10周年とはメデタイ。なんにせよ一区切りです。同窓会のさらなる発展を期待して役員の方々にエールを送ります。

中西功悦

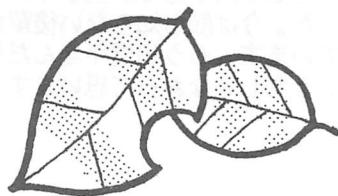
特別な目的意識を持たず、毎日を過ごしています。

藤田智香子

創立十周年おめでとうございます。記念の集いに出席できず、残念にそして申し訳なく思っています。私は今修論で悪戦苦闘中です。もしかしたら予定より長く学生でいるかもしれません(予定通り?)。いつかまた同窓生の皆様とお会いできることを楽しみに頑張ります。

山田 伸

時が流れるのは早いもので、卒業してから9年の月日が過ぎようとしています。一昨年妻をめぐり、昨年一児の父親となりました。家庭というものを持ったこと、そして娘の成長が様々な面で励みになっています。道産子の私も「AOMORI COLORにどっぷり染まってきたなあ」と感じる今日この頃です。



3 期 生



小野博明

早いものですね。もう十周年ですか・・・今後20周年、30周年と続くなかで、私も自分の進む道を一日も早く見つけられるよう頑張っていきたいと思います。みなさんも健康に気をつけて頑張ってください。

加藤和枝

卒業してもうすぐ8年になります。短大で勉強していたのがついこの間のような気がしますが・・・結婚して今は2歳と1歳の年子の女の子が二人います。家事と育児に追われて日々の業務をこなすのがやっとなという感じです。もう少しして余裕ができれば同窓会にも出席したいと思います。

佐藤良子

同窓会創立10周年おめでとうございます。役員そして各部員の方々、忙しい中同窓会の仕事、本当に御苦勞様です。残念ながら都合により記念の集いには出席できかねますが、盛会となることを期待しております。

銭谷妙子

私どもが入学して、全学年がそろった状態でした。今は顔も知らない後輩たちが多くなっています。もう10周年なんだなあ、早いなあ、うれしいなあと思っています。

田中明美

卒業式を終え、下宿を引き払い、埼玉に帰る前日に、ねぶたの館で卍絵を一枚購入しました。母がこの絵をいやに気に入って、家を新築したら飾るんだと大切にしまい込んでいました。この春、8年ぶりにその卍絵が目の見ることになりました。弘前を懐かしく思う今日この頃です。創立十周年万歳！

奈良 剛

2年前からスキーを始めました。冬は休日になるとスキー場をとびまわっています。大雪になると顔がほころんでしまいます。

山田朋子

十和田市へ引っ越してきて2年が過ぎました。子供も2人となり、おちついたかのように思えるけれど、う～ん、次はどこへ行くのかなあ？などと思っている今日この頃です。

山本康博

今年4月から、勤務先を変えました。何となくPTになりたての頃の緊張感みたいなものを思い出す今日この頃です。

山谷光仁

最近、すっかり学生時代のことを忘れてしまっていたら、創立10周年とのこと。県内にいるのに、医短には全然行ってないなあ。

4 期 生



阿部雄彦

弘大医短P T学科同窓会創立10周年おめでとうございます。学生時代、遊んでばかりだったグレコも2児の父親になりました。

大沢由貴

短い夏でしたが、例年になく黒んぼになりました。いるかないかわからないといわれています。これから秋冬にかけてどうやって漂白しようかと思っています。

相場みどり

短大を卒業し、栃木に戻って6年半が経ちました。弘前を遠く離れて、同窓生も他に一人しかいない栃木で働く私にとって、“アップロード”は短大と私とを結びつけてくれるとても嬉しい広報です。会員達の活躍を知ることによって刺激を受けたり、昔を懐かしんだりしながら楽しく読ませてもらっています。私はといいますと、昨年結婚をし、今年長女を出産しました。これまでずっとP Tとして働いてきましたが、1年間育児休暇をとることにしました。休みに入ってまだ2カ月半しか経っていませんが、はやくも仕事が恋しくて仕方がありません。勤めているときは休暇にはいるのが待ち遠しかったのに、勝手なものです。とりあえず1年間は育児に専念する予定です。

草野公俊

同窓会創立10周年おめでとうございます。卒後7年、結婚し、父親となり、この夏念願

の家を建て、また12月には2人目の子供が生まれる予定と、私生活では充実した毎日を送っています。自分のため、家族のため、もっといい仕事をしたいと思う今日この頃です。

楠美有理

同窓会活動も若手中心に頑張ってもらいたいと思います。(年寄り引退の時期です。)

佐藤比呂子

おめでとう、同窓会創立十周年！！
ということは・・・4期卒業の私は学校と関わるようになってから10年以上ということに・・・！？
身の廻りではいろいろ起こっているようですが、相変わらずのワタシです。

謝花芳治

同窓会、創立十周年おめでとうございます。私も弘前を離れて7年目となり、少しずついろいろなことが変わってくるんですね。同窓会誌を読んで新しいP Tさんがどんどん増え、すごいなあ～という感じです。今、私もP Tの可能性を求めて、いろんな所に顔を出すようにしています。では。

藤田茂子

『あつ』という間に10年ですね。私の娘たちも6歳と4歳になり、娘の背丈分だけ時の流れを感じます。これから、あと10年、20年と皆で時を積み重ねて行くことができるといいですね！！

5 期 生



石田秀雄

同窓会発足10年目ということは、私はもうPT6年目。早いものです。何も考えず元気だけがとりえの28歳、独身。2度目の卒論に苦しんでいる大学4年生です。恐ろしいことに私が5年もPTをやっているわけですが、同窓会20年目には、社会は、学校は、そして、私はどうなっているのでしょうか。やはりきつと早いものだと思っていることでしょうか。・・・。

大橋哲雄

新しい事を始める最後のチャンスと思い、6年目にして退職する事になりました。まだしばらくは時間がありますが、とりあえず病気に気をつけて行ってきたいと思います。
(青年海外協力隊、H.5年1次隊でタイへ派遣予定)

河原優美子

卒業してから6年間、広報部の名を借りて、全国津々浦々に無遠慮にTELしまくる時、また、皆さんの生き様を真っ先に読ませて頂く時、私の方が励まされ、役員としての醍醐味を感じております。性格柄、大きなことはできませんが、微力ながらも自己肯定できる役割を見つけていければと思っています。

黒木美保子

卒業して5年数カ月。お年寄りに「いやー、先生は若いね」と言われても、素直に喜べない今日この頃です。

須藤恵理子

同窓会名簿データに「卒業6年目」という字をみつけて、おどろいてしまいました。そーなんですよ、そんなにたっているんですよ。まだ2～3年しか過ぎていないような気がしているんだけど・・・。「光陰矢の如し」ですね。

舘山祐子

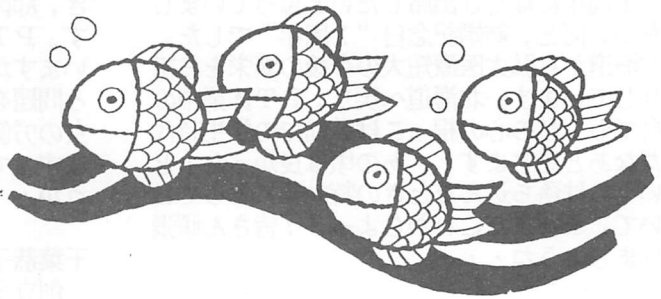
三年間過ごした弘前は、私にとって第二の故郷とも言え、時々訪れて岩木山の姿を拝みたくなります。今私がPTとして働いていられるのも、先生方をはじめ周囲の皆様のおかげ、弘前という土地のおかげとしみじみ思い、感謝の気持ちで一杯です。

田中智子

同窓会創立十周年になりますが、隣の県とはいえ、他県に就職した私は、同窓会の事業にあまり参加できませんでした。でも、同窓会の存在はどこにいても頼もしいものです。

田畑 稔

同窓会十周年おめでとうございます。また、各役員の皆様大変ご苦労さまです。僕も東京にきて5年半になりますが、なかなか弘前の時のように物事をじっくり考える時間を作れず、つつい、まあいいかで流してしまいう日々が続きます。



橋村尚樹

御無沙汰しております。同窓会十周年からすると、自分はちょうど半分までできました。これから自分の十周年に向けて頑張っていきたいと思います。諸先生方、先輩、後輩の皆さん、今後とも宜しく願います。十周年本当におめでとうございます。

古川雅一

「これからも十年一日ではなくて、少なくとも十年一昔となるよう益々の御発展をお祈り申し上げます。」などと他人行儀なことを申しますが、これからどんどん輩出されるであろう優秀な後輩に負けぬよう僕自身も発展するように頑張ります。

宮川直美

10年もたったんだなという思いと同時に社会にでてもう6年目だわというおそろしさを感じています。この6年で変わったことも多

々あるけれど変わらないのは同期生と会ったときのその場の雰囲気と私の提出物の遅さ。(事務局の皆様ごめんなさい) 30歳を目前にいろんな面で脱皮をねらいたい今日この頃です。

宮本久志

十周年記念の集いは楽しみにしていたのに、弟の結婚式と重なってしまい出席できません。残念です。次回15?、20?周年には出たいと思います。近況と云えば、のんびりと発達する息子に早く起こされ、眠い目をこすりながら遊ばされている日々を送っています。めっきり酒量が落ちたことに30代の実感を感じています。皆さんお元気で。

6 期 生



内藤麻生

十周年にはぜひ出席したいと思っていましたが、何と、結婚記念日“1周年”でした。北海道から弘大医療短大の今後の繁栄をお祈りしています。北海道へ戻り、PT休業中の身でも、私の心の根っちは弘前で学生時代だなあと感じます。「あの頃は良かった」というのは落ち込んだときの特効薬にとっておいて、まだまだこれからよっ!!皆さん頑張らましようね・・・

神 香

こんにちは、6期生の神です。同窓会に入って5年目になりますが、その間、結婚→出産を経験し、今は育児(らしいもの)と仕事を自分なりに頑張っています。忙しく毎日が過ぎていきますが、子供の顔を見るとホッとしてしまいます。

佐々木妙子

創立10周年おめでとうございます。早いもので私も卒業して5年です。結構いろんなことがありますが、PTに限らず、医療従事者はやはり尊い仕事をさせて頂いている職種なんだなあと退院していく患者さんを送り出すたびに思うこの頃です。

助川律子

創立10周年おめでとうございます。有望な人材(?!)を次々に送り出している医短及

び同窓会のこれからの発展とご活躍とともに、自分も成長して生きたいと思います。

鈴木英樹

記念事業が盛会となりますようお祈りしています。最近は何事も全て、因果応報と考え、日々精進しております。

石屋柳子

5月25日の真夜中に女の子を出産し、現在3ヶ月が過ぎました。名前はつぐみです。産休があげて再び働き始めて1ヶ月があつという間に過ぎてしまいました。産休のおかげで気分を一変して、新たな気持ちで仕事をしています。何歳まで働けるか分かりませんが、妻、母、嫁、PTとして続く限りやっていくつもりです。

福田 淳

時々里帰りしていますが、連休を使って帰るので、学校も休んで短大へもしばらくおじゃましていません。同期生も結婚、出産が続きます、Apple-Roadが届くのを楽しみにしています。PT業の方は、ぼちぼち、細々と続けていますが、Full-Timeで働くとなるといろいろ問題を解決してゆかねばならず、子持ちの女の労働条件のつらさを身にしみて感じています。でも医療職はまだいいほうなんでしょうか・・・

千葉恭子

創立10周年おめでとうございます。私も就職して5年目となり、時の早さを感じています。ただなんとなく年をとることがないように、充実した毎日を送っていきたいと思う今日この頃です。

三上雅史

今頃あいつらどうしてるかな?と思うとき、「アップルロード」はタイムリーで楽しく読ませてもらっています。今後の発展を期待しています。

山口美穂子

卒業してもう5年もたってしまいました。この5年でいろんな人に出会いました。いろんなことを経験しました。これから先も、もっとたくさんのいろんな人に出会いたいと思います。もっといろんな事にチャレンジしていきたいと思います。

7 期 生



伊藤江里子

楽しみにしています。

竹内康子

この3年間、ずーっと職場の“新人”としてぬくぬく過ごしていましたが、4年目にして初めて「私より新しい人」を迎え、時の流れを感じました。なんつったって10周年ですもんね。でもどうしても3つも下なんて思えなくて……。いつの間にそんなに時が過ぎたのか！？。いままでとは違った緊張感、活気が職場にみられるようになった気がします。

工藤義教

皆さん元気に頑張っていますか。私は元気です。

古木名寿登

創立十周年記念、誠におめでとうございます。教官はじめ同窓生の皆様方の今後のご発展と学科の益々のご隆盛を祈念いたします。

高橋恵子

弘前独特の面白味のある学校になって欲しいと思います。

土岐浩志

皆様、お元気ですか。私は患者から「神様」と呼ばれています。どうだ、参ったか！

廣瀬利佳

網走ではもう木々が紅葉し始めました。オホーツク圏でも昨年からセラピスト研修会が発足されましたが、網走管内でPT・OT合わせて16人・ちょっと寂しいです。誰か来てくれませんか～！！。「あれもやりたい・これもやらなきゃ」と思っているうちに、いつのまにか時だけが過ぎてしまいました。目標だけは何とか定まってきましたので少しずつでも前進していきたいと思っています。結婚？あとは相手だけなんですけどね……。

山内美里

新しいことを始めるのがおっくうな時期もあったけど、今は仕事以外で興味の持てることがチラホラ。少しずつ新しいことにチャレンジしながら年月を重ねて行けたらいいな。

村田ふじみ

私は昨年（1991年）、「第4回青森県青年の船」で生まれて初めての海外旅行（中国と韓国）へ行ってきました。異国の文化を肌で感じ、また、この旅行を通して県内各地に友人ができた「村田ふじみ25歳の秋」の経験でした。



8 期生



浅川育世

PTとなって3年目、まだこの先何をしていけばよいのか、毎日悩んでいます。もうそろそろ、大きな何かを成し遂げたいのに…。

斎藤圭介

同窓会創立十周年おめでとうございます。今後益々の御発展を御祈りいたします。

真壁悦子

同窓会10周年おめでとうございます。函館という比較的近い所にながら、弘前にはほとんどいっていませんでした。先生方、会員の皆さんにあえるのを楽しみにしております。10/10に結婚します。

佐藤 誠

おめでとうございます。

嶋田誠司

創立十周年おめでとうございます。来年からは臨床実習も始まりますので、同窓生として微力ながら、恩返しのつもりで頑張りますので、宜しくお願いします。

成田さおり

皆さんお元気ですか。ここで質問です。たまにこんな事を考えてみるのもいいかもしれませんよ。

旅をしていますか。帰る場所がありますか。本当に愛しているものを三つ挙げられますか。空を飛ぶ夢をまだ見ますか。流されていませんか。自由ですか。また私(自分)に生まれてほしいですか。(CRESTAより)

これからもがんばりましょうね。

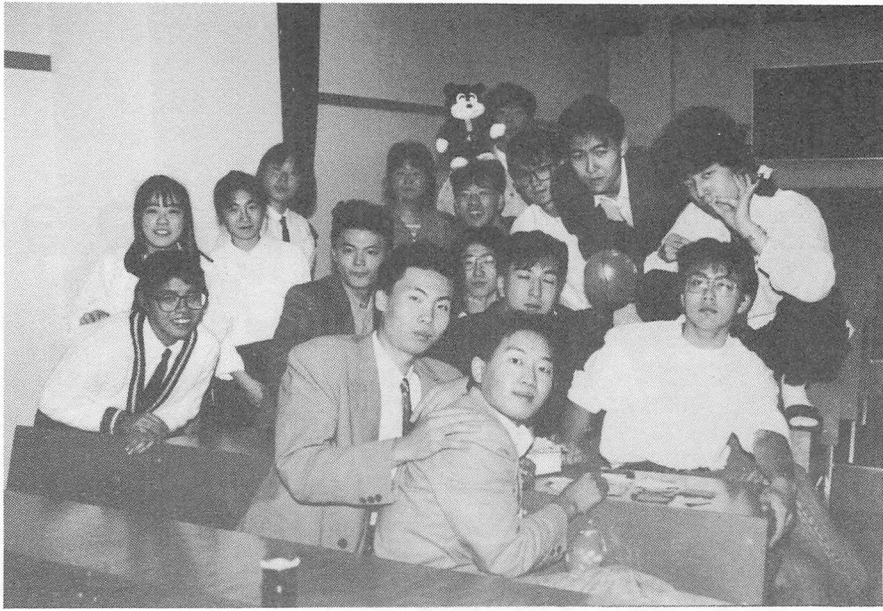
三船 衛

創立十周年おめでとうございます。理学療法士として3年目となりました。相変わらずのゆっくりとしたペースではありますが、何とかやっています。最近、けっこう仕事もその他も楽しいです。皆さんはどうでしょうか？

津嶋敦司

短いようでも、もう10周年。長いようでも、まだ10周年。解釈の仕方は2通りだが、10周年という区切りで、やっぱりめでたしめでたし！

9 期生



相内俊範

第3の人生目指して、いろいろTryしています。

一居淳子

同窓会が創立したという10年前、私はまだ中学生で、部活と勉強におわれる毎日で、PTという職種はもちろん、弘前という土地さえも知りませんでした。そんな私も短大を卒業すると、同窓会の一員になってしまう、というのはあたり前だけど、くすぐったいです。私の知らないときから、同窓会を支えてきた方々、ご苦労さまです。そしてこれからの人も頑張ってください。

小野田修一

創立十周年おめでとうございます。近況では、私の病院で一年半にしてようやく承認施設申請への運びとなりました。設計時から問題ばかりでしたが、開設し徐々に軌道に乗ってきたところで、今後もスタッフ一丸となって頑張っていこうと思います。

立塚真澄

創立十周年おめでとうございます。益々の理学療法学科の御繁栄、御健闘を北の空から期待しております。

対馬栄輝

9期生の皆様、お元気でしたか。思えば早いものであれから1年半の月日が経ちました。

弘前付近には、相内君と須藤君しかいなく、毎朝一番で気分の悪い顔をした須藤君とすれ違います。卒業してから県外に行った人とは全く連絡をとってませんが、御活躍なされているであろう皆様に懐かしく思います。過ぎ去りし良き日々や、“猿も木から落ちる”を“猿も木にこする”といった元中央病院阿保君の名文句等を思い浮かべれば悲しさもまぎれると思われれます。最後に、竹内 仁もよろしく。

富山きよ江

最近現職者講習会を受講し、自分の不勉強さを身にしみて感じています。体はいたって元気ですが、頭の中は今にも爆発しそうです。

中江秀幸

会に消極的で迷惑おかけしています。

安田真恵智

老健に勤務してから6ヵ月目をむかえています。しかし、老健とはどうあるべきかと考えると、なかなか良い考えが浮かびません。老健等に勤めている諸先輩方で良い知恵がありましたら連絡下さい。最後に、9期生のみんな頑張ってるかーっ・・・と一言。

木下 滋

出席できず申し訳ありません。近頃、遊びに忙しい今日この頃です。

10期生



會津加代子

疲れてるけど元気です。

太田貴子

黎明郷に就職したおかげ(?)で、新車の真っ赤なシビックを買うことができました。おかげで毎日の通勤がとっても楽しいです。

笠原秀則

毎日毎日、とても暑いです。クーラーがとてほしいなあ~と思います。仕事の方は、とてもhardですが、それなりにがんばっています。大変なことを大変と思わずに行うと、それなりにがんばれます。来年は“R”をつけてがんばるつもりです。何かありましたら、宜しく願います。

下田裕子

こんにちは、10期生の下田です。根っからの田舎者が東京に出てきていますが、何とか東京にも慣れてきました。今年はPT1年目ですが、これからどうなるのか楽しみでもあり、恐ろしくもあり・・・というところです。でもマイペースで頑張りたいと思います。

寺田紋子

元気にマイペースで仕事に励んでいます。朝、早起きするのがつらい毎日ですが・・・

須藤真史

新車(真っ赤なレビン)を買ったおかげで、初めて速度違反でつかまってしまった。罰金痛かったよ~。でも毎日楽しく仕事しています。

長谷川道子

夏休みを利用して、一週間実家に帰っていた間、患者さんたちの間で、私がお見合いをしていたというウワサが流れており、びっくりしてしまいました。変なウワサってこわいですね。

浜浦資子

毎日30名を越える患者さんと時間に追われ、あっという間の半年でした。これではいけないという自己嫌悪にかられています。

横山恵里

札幌に就職して半年ほど経ちましたが、やらなければいけないことが沢山ありすぎて、何から始めればよいのかわからず、全て中途半端な状態です。もう一度自分を見つめ直して、焦らずに一つ一つ目標を達成していけるように頑張っているところです。

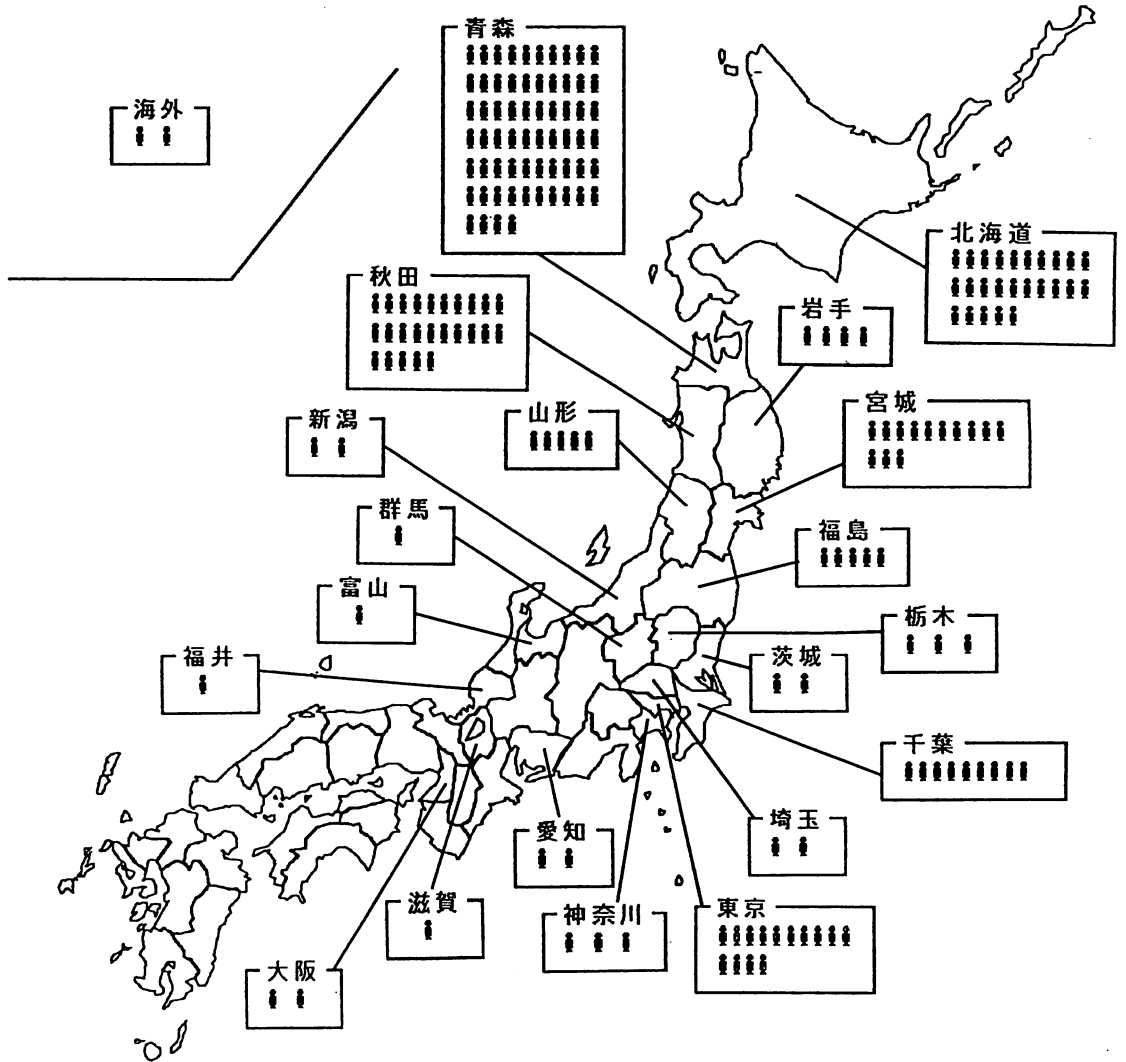
高橋貞広

私が公立横手病院に就職してから早いもので半年が過ぎました。職場でもすっかり慣れ、はりきって頑張っています。

同窓生の都道府県別就職状況

(平成4年10月20日現在)

N=186



地区	都道府県	東北					関東						信越	北陸		東海	近畿		海外	合計			
		北海道	青森県	秋田県	岩手県	宮城県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	福井県			愛知県	滋賀県	大阪府
人数		25	64	25	4	13	5	5	2	3	1	2	9	14	3	2	1	1	2	1	2	2	
小計		25	116					34						2	2		2	3		2	186		



編集後記

会員数も 186名に達し、規模が大きくなるにつれ、会の結集としては困難になりつつありますが、同窓会発足当時の教官、先輩方の物心両面にわたる業績、“弘大マインド”を礎に、全国はもとより、世界各国においても広く躍進している同窓生の活躍ぶりには、目をみはるものがあります。同窓会10周年を迎え、記念誌を発行するにあたり、小さな一冊ではありますが、同窓生全員で、医療短大卒業後10年を凝縮し、まとめあげた重みのある一冊と思っております。

お世話になった教官、OBの各先生方から、21世紀へ向けて、理学療法士として、医療従事者として、人間として、どうあるべきか沢山の示唆をいただきました。この言葉を糧として、さらなる発展を誓いあいしたいと思います。

巻末に、会員名簿（第5号）を添付いたしましたので、御利用下さい。

最後に、お忙しいなか、原稿依頼を快くお引き受け頂いた各先生方、メッセージを寄せていただいた会員諸氏に、厚くお礼申し上げます。

（1992.11.22 河原優美子）

弘前大学医療技術短期大学部理学療法学科 同窓会10周年記念事業実行委員会

実行委員長	栗林 輝生
委員	石川 玲，後藤 明教，今 一成，中西 功悦， 奈良 剛，銭谷 妙子，一戸美代子，今 千佳子， 大沢 由貴，藤田 茂子，柴田 智文，村田ふじみ， 山口美穂子，山内 美里，齊藤 圭介，齋藤千恵美， 成田 康子，安田真恵智，會津加代子
記念誌担当	河原優美子，佐藤比呂子，古木名寿登，三上 雅史 成田さおり，土岐 浩志，対馬 栄輝
名簿担当	尾田 敦

弘前大学医療技術短期大学部理学療法学科
同窓会10周年記念誌アップロード

編集・発行 弘前大学医療技術短期大学部
理学療法学科同窓会

〒036 弘前市本町66-1
弘前大学医療技術短期大学部
理学療法学科内
Tel 0172-36-0945

印刷・製本 (株) 笹 軽印刷
弘前市下白銀町11
Tel 0172-32-7530

平成4年11月22日発行
